

各位

株式会社富山第一銀行

辰巳化学株式会社との  
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、辰巳化学株式会社（代表取締役社長 黒崎 隆博）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを低減する活動を支援いたします。

今後、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じたSDGsの達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

## 記

## 1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することでSDGs達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対するKPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

## 2. 融資概要


契約締結日	2023年8月10日
借入人	辰巳化学株式会社
融資金額	3億円
資金使途	運転資金
モニタリング期間	5年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。  
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

## 3. 評価企業概要 辰巳化学株式会社

代表者	代表取締役社長 黒崎 隆博
本社所在地	石川県金沢市久安3丁目406
事業内容	医療用医薬品の製造・販売
設立年月日	1941年7月31日

## 4. SDGs達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取組内容	ジェネリック医薬品の供給量拡大および品質確保
インパクトの種類	社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大 経済面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクト・カテゴリ	「健康・衛生」「包括的で健全な経済」
関連SDGs	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>
対応方針	安定供給に向けた生産量拡大
毎年モニタリングする目標とKPI	2028年6月期までに年間生産数量を25億錠以上とする



株式会社富山第一銀行  
金沢支店長 畑田 和也

辰巳化学株式会社  
代表取締役社長 黒崎 隆博氏

### 【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：宮嶋

TEL 076-461-3871

# ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業 :  辰巳化学株式会社

2023年8月10日

株式会社 富山第一銀行

1. はじめに. . . . .	2
2. 会社概要. . . . .	3
(1) 企業概要・ビジョン・企業概要	
(2) 沿革	
(3) バリューチェーン	
(4) ジェネリック医薬品	
(5) 組織図	
3. 事業内容. . . . .	9
(1) 生産体制	
(2) 製造工程	
(3) 流通体制	
4. ガバナンス. . . . .	12
(1) リスクマネジメント	
(2) コンプライアンス	
5. 職場環境. . . . .	14
(1) 金沢市はたらく人にやさしい事業所	(2) かがやき健康企業宣言
(3) 白山市健康づくりブロンズ事業所認定	(4) 女性活躍推進への取り組み
(5) ワークライフバランス	(6) ダイバーシティ
(7) 地域未来牽引企業	(8) 工場見学／インターンシップ
6. 環境問題. . . . .	17
(1) SDGs宣言	(2) 施設内における取り組み
7. インパクトの特定. . . . .	18
(1) インパクトレーダーによるマッピング	
(2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール／	(3) 日本におけるインパクトニーズの確認
(4) インパクトの特定／	(5) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認
8. KPIの設定. . . . .	22
9. 管理体制とモニタリング. . . . .	24

## 1. はじめに

富山第一銀行は、辰巳化学株式会社に対してポジティブ・インパクトファイナンスを実施するにあたって、同社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、株式会社格付投資情報センターの協力を得て、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」およびESG金融ハイレベル・パネル設置要領第2項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、辰巳化学株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの緩和に向けた取組みを支援するため、辰巳化学株式会社に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	辰巳化学株式会社
所在地	石川県金沢市久安 3 丁目 406
従業員数	548 名
事業内容	医療用医薬品の製造・販売
調達金額	300,000,000 円
調達形態	証書貸付金
資金使途	運転資金
契約期間（モニタリング期間）	2023 年 8 月 10 日～2028 年 8 月 15 日

## 2. 会社概要

### (1) 企業理念・ビジョン・企業概要

#### 企業理念

##### 01 安心・安全

我々は、安全で安心できる医薬品の提供により、健康で豊かなヒューマンライフに貢献します。

##### 02 信頼

我々は、常に柔軟な発想で高度な技術にチャレンジし、付加価値の高い製品で信頼に応えます。

##### 03 追求

我々は、仕事と組織を通して、能力の開発と人格の向上を追求します。

#### ビジョン

社員の幸せを追求する。  
社会に貢献する企業であり続ける。

#### 企業概要

社名	辰巳化学株式会社
代表者	代表取締役社長 黒崎 隆博
本社	石川県金沢市久安 3 丁目 406
創立	昭和 16 年 7 月 31 日
事業内容	医療用医薬品の製造・販売
資本金	1 億円
売上高	166 億円（令和 4 年 6 月期ベース）
従業員	548 名
事務所	本社、松任第一工場、発送センター、第一研究所 札幌営業所、仙台営業所、東京支店、北九州営業所

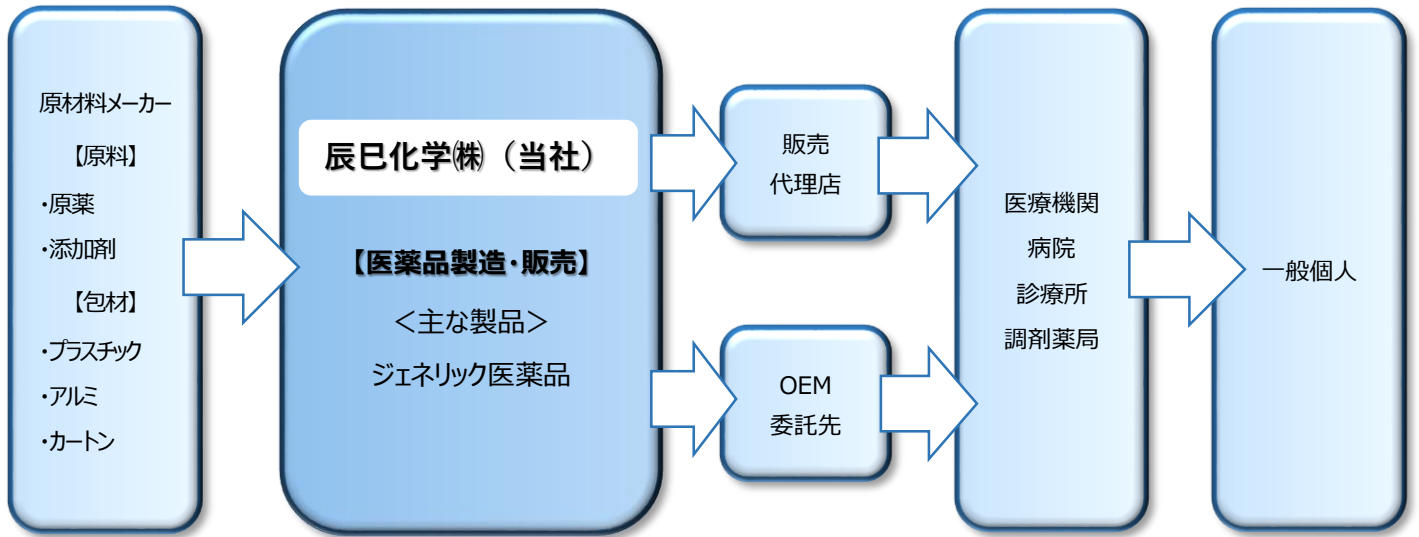
## 2. 会社概要

### (2) 沿革

年 月	概 要
昭和16年 7月	石川県金沢市上胡桃町に資本金 180,000 円にて創立。
昭和24年 6月	増資により資本金 1,200,000 円となる。
昭和34年 6月	本社並びに本社工場を金沢市笠舞町に新設移転する。
昭和41年 1月	資本金 5,400,000 円となる。
昭和42年 8月	株式公開募集により、資本金 29,180,000 円となる。
昭和43年 4月	本社工場を増設。資本金 34,330,000 円となる。
昭和45年11月	研究室、生産設備の拡充、資本金 84,000,000 円となる。
昭和48年 5月	本社事務所を金沢市三馬町に新設する。
昭和48年 9月	松任市上安田町に松任第一工場の第 1 期工事として糖衣工場を新設。
昭和49年 8月	松任第一工場に第 2 期工事として内服固形製剤工場を増設。名古屋中小企業投資育成株式会社の資本参加により資本金 134,000,000 円となる。
昭和50年 7月	辰巳化学販売（株）を吸収合併し、資本金 174,000,000 円となる。
昭和51年 8月	松任第一工場に第 3 期工事として抗生物質製剤工場を増設。
昭和54年 7月	本社を金沢市三馬 3 丁目に移転する。
昭和54年 8月	松任第一工場に第 4 期工事として試験研究室、注射剤軟膏剤、内服液剤、資材倉庫等を増設し、本社工場を全面移転する。
昭和59年 7月	白山市（旧松任市）福留町に第一研究所を新設。
平成 7年10月	松任第一工場を増築し GMP 基準に沿った新製剤棟（G 号棟）を増設し、製造設備を拡充する。
平成10年10月	本社を金沢市久安 3 丁目に移転する。
平成19年 4月	松任第一工場に新固形製剤棟（M 号棟）を増設し、GMP 基準の充足を図るとともに生産規模を拡大する。
平成22年 7月	石川県白山市に発送センターを建設。
平成27年 7月	品質管理厚生棟を新設。さらなる品質管理体制の強化を図る。
平成27年12月	グローバル三極 GMP 及び PIC/S に準拠した内服固形製剤棟（P 号棟）を増設。需要拡大に対応する。
令和 2年12月	生産能力の向上を目的に G 号棟を増床、生産規模を拡大する。

## 2. 会社概要

### (3) バリューチェーン



#### <事業概要>

- ・ジェネリック医薬品の製造及び販売を手掛けている国内有数の製薬会社。自社製品販売、委託製造販売及びOEM製造販売を行う。全国47都道府県全てを網羅する流通ネットを整備し、約120の販売代理店を通じて、全国の医療機関に医薬品を届けている。
- ・当社の強みは、創業以来80年以上ひたすらに薬づくりに注力してきたからこそ培われた高い技術力と開発力にある。
- ・平成28年4月から稼動した新製剤棟および平成31年4月から稼動の松任工場増床部分にて生産効率・生産量が上昇。令和2年12月には更なる生産能力の向上を目的に松任第一工場のG号棟を増床し、様々な治療に使われる薬の生産能力は年間24億錠となった。
- ・人々の健康を支える「医薬品」だからこそ、常に世の中の需要が無くなることはない。これから先の100年間も社会にとって必要な持続企業となることを目指し、社員全員で取り組んでいく。

#### <製品一例>

##### 内用剤



名称：アムロジピン錠5mg  
用途：持続性Ca拮抗剤



名称：レバミピド錠100mg  
用途：胃炎・胃潰瘍治療剤

##### 外用剤



名称：ロキソプロフェン  
用途：鎮痛・抗炎症剤



名称：プレドニゾン吉草酸エステル  
酢酸エステルクリーム  
用途：外用合成副腎皮質ホルモン剤

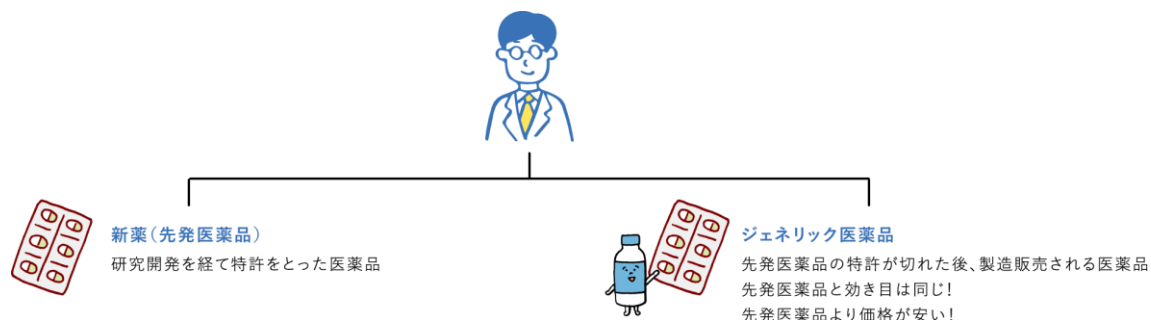
※ 薬効郡としては中枢神経、末梢神経、循環器官、呼吸器官、消化器官等が有り、約230品目の医薬品製造が可能。



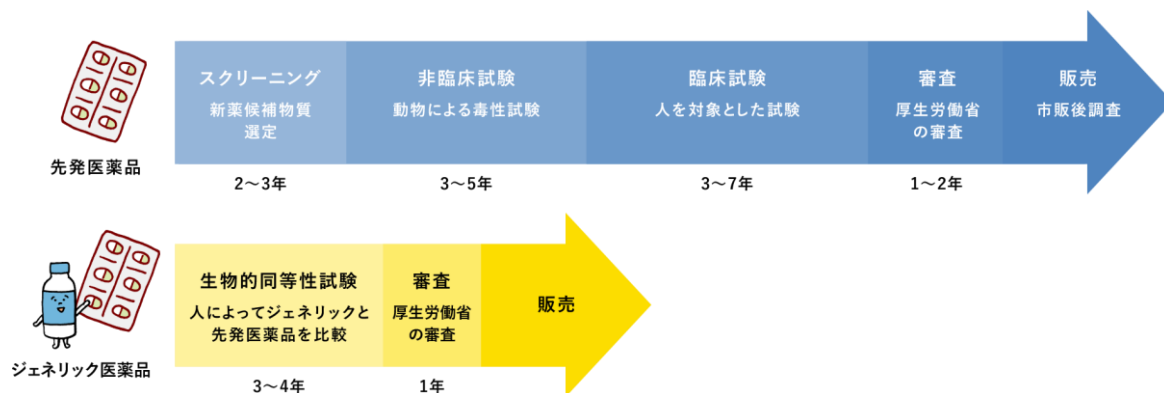
## 2. 会社概要

### (4) ジェネリック医薬品

- ・ 医薬品は、新薬（先発医薬品）とジェネリック医薬品に分けられる。ジェネリック医薬品とは、新薬の特許が切れたあと新たに製造販売される医薬品で、新薬と効き目が同じ医薬品である。厚生労働省で認可を受けていることから安心して服用することができ、また開発費用がかからないことから安く服用することができるというメリットがある。



- ・ ジェネリック医薬品は、既に新薬で安全性が確立されているため、開発プロセスにおいて、新薬ほどの臨床試験を必要とせず、開発期間を大幅に短縮できる。
- ・ 開発期間の違いから、新薬であれば200億円以上の開発費用がかかるのに対し、ジェネリック医薬品では数億円の開発費用に抑制できる。
- ・ 新薬に比べて開発期間や開発費が少ないため、ジェネリック医薬品は新薬と比較して低価格で供給することができる。



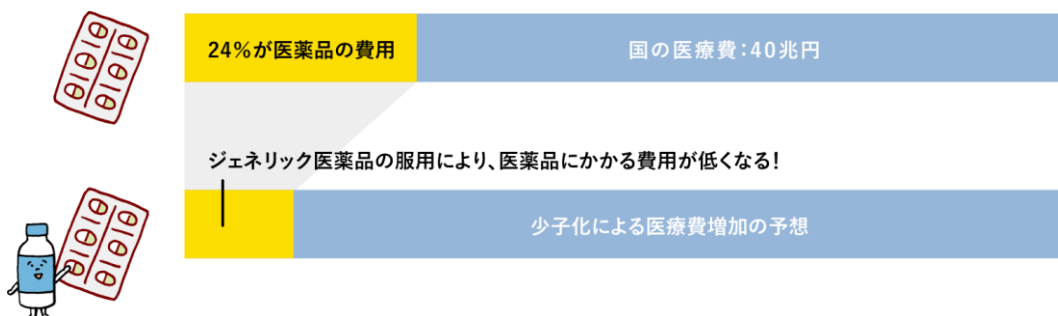
- ・ ジェネリック医薬品は、生物学的同等性試験（※1）を行い、先発医薬品と効き目が同等であることを検証している。検証後、厚生労働省の認可を受けており、効き目や安全性が新薬と同等であることが化学的に証明されている。

※1 生物学的同等性試験：ヒトに対して医薬品を投与し、新薬とジェネリック医薬品の血中濃度を比較する試験



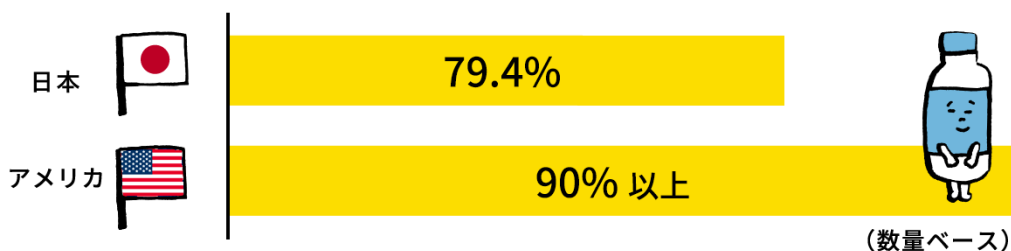
## 2. 会社概要

- ・我が国は、社会保障費の増大が深刻な問題となっており、今後少子高齢化が進む中、問題は加速することが懸念される。国の医療費負担を抑制し、国民皆保険制度を維持していくためにも、低価格なジェネリック医薬品の普及が求められている。



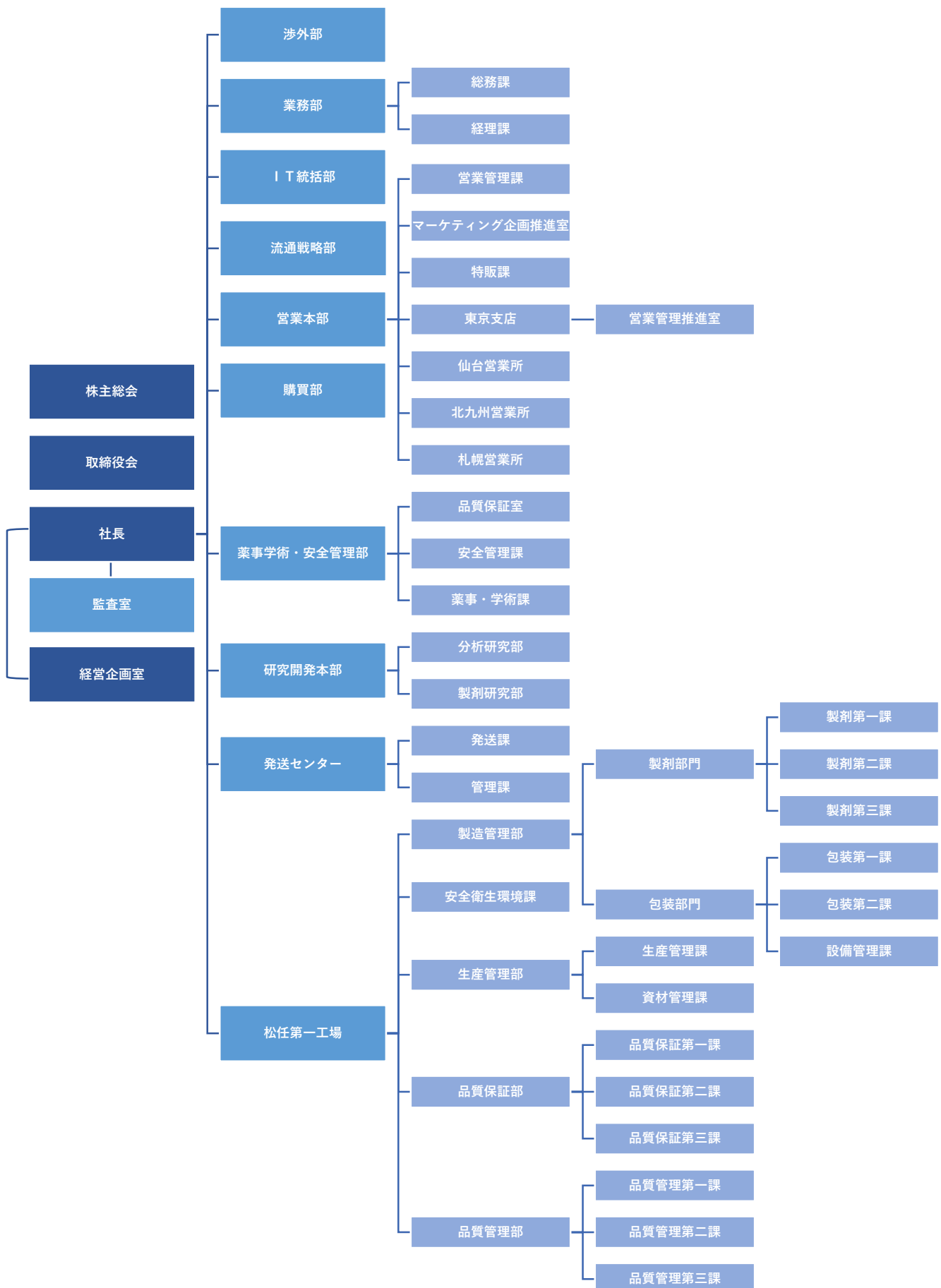
- ・日本でのジェネリック医薬品の使用率は年々伸びているが、ジェネリック医薬品の数量シェア分析結果（※1）では79.4%と、世界の使用率に比べると依然として低い状況にある。
- ・現在、厚生労働省では2023年末までに全都道府県で数量シェア80%という目標を掲げており、ジェネリック医薬品の使用促進のための各種施策が積極的に行われている。

※1 2020年度（令和2年度）：日本ジェネリック製薬協会調べ



## 2. 会社概要

### (5) 組織図



### 3. 事業内容

#### (1) 生産体制



松任第一工場全景



G号棟



M号棟



P号棟



第一研究所



品質管理厚生棟



発送センター

- ・ 製造拠点となる松任第一工場には、GMP基準に適合したG号棟、M号棟、P号棟の3つの製剤棟がある。
- ・ 平成28年4月より稼働したP号棟は、最新の製造基準であるPIC/Sに対応した製剤棟で、これにより大幅に生産能力が引き上げられた。
- ・ 令和2年にはG号棟を増床し、充実した製造設備と徹底した空調管理により、高品質の医薬品製造を行っている。
- ・ 第一研究所では、患者様の健康を第一に考える基本姿勢のもと、医療機関の期待に応えるため、高品質な医薬品の開発を目指し日々努力・研鑽を重ねている。
- ・ 品質管理厚生棟は、品質管理のための試験室とオフィスのほか、従業員の食事スペースや会議室などのコミュニケーションフロアを設けるなど、品質管理と福利厚生を充実させるための設備になっている。

### 3. 事業内容

#### (2) 製造工程

- ・ 原材料の受入・加工、医薬品の製造・包装から最終製品の出荷まで一貫体制で対応しており、安全・健康な製品提供を実現する体制を構築している。

##### ①原材料受入れ



受入れ試験合格後、立体倉庫から原料一時保管室に搬入

##### ②秤量→調製→整粒・混合



秤量を済ませ、造粒、乾燥、整粒、混合の工程へ

##### ③打錠（錠剤）



粉体を錠剤に成形

##### ④コーティング（SG／FC）



コーティング（糖衣）を行う

##### ⑤検査



全自動検査機で錠剤外観を自動検査

##### ⑥包装→出荷



自動梱包された製品の最終試験を行い出荷

### 3. 事業内容

#### (3) 流通体制

- ・全国47都道府県すべてを網羅する流通ネットを整備し、医薬品の安定供給体制を構築。
- ・松任第一工場に隣接された発送センターから、約120の販売代理店を通じて、全国の医療機関に医薬品を届けている。



※下記は直販ルートの拠点

本社営業本部	(石川県金沢市)
北海道地区	札幌営業所 (北海道札幌市)
東北地区	仙台営業所 (宮城県仙台市)
関東地区	東京支店 (東京都荒川区)
西東京地区	辰巳化学ロジティクス(株) (東京都町田市)
北陸地区	辰巳医薬北陸販売(株) (石川県金沢市)
東海地区	シンコウメディカル(株) (愛知県名古屋市)
関西地区	辰巳医専(株) (大阪府大阪市)
九州地区	北九州営業所 (福岡県北九州市)

## 4. ガバナンス

### (1) リスクマネジメント

#### <BCP>

- ・2011年に発生した東日本大震災以降、毎年のように大規模な自然災害が全国各地を襲っている。新型コロナウイルス感染症など、自然災害以外のリスクも出現していることから、当社では有事に対する備えとしてBCP（事業継続計画）を定め、さらにBCP基本計画中に「感染症対応マニュアル」を追加した。
- ・また、当社では、株式会社日本政策投資銀行より、DBJ BCM格付、DBJ健康経営格付を取得し、BCP及び従業員の健康管理に関する取り組みを強化している。その他、子会社を含めた相互協力体制を構築することをまとめた「連携事業継続力強化計画」が経済産業省より認定されている。
- ・どのような時も皆様により良い医薬品を安定供給するために、供給責任を果たし、さらなる事業活動の継続力強化を目指す。



### (2) コンプライアンス

#### <企業行動憲章>

- ・当社の使命は、経済性がある品質の優れたジェネリック医薬品を開発・供給することにより人々の健康と福祉と医療に貢献し、持続可能な社会の発展に寄与することである。
- ・そのため、コンプライアンスを経営上の最重要課題とし、次の行動原則（次項）に基づき、国の内外を問わず、人権を尊重するとともに、すべての法令、国際ルール、社会規範、社内規範を遵守し、持続可能な社会の実現に向けて、高い倫理観をもって行動する。

## 4. ガバナンス

1. 持続性のある医療保険制度に貢献するジェネリック医薬品を安定的に供給し、医療コストの効率的配分及び国民の健康と福祉に貢献する。
2. 臨床試験は、医療機関の協力を得て、被験者の人権を尊重するとともに、安全確保に留意し、かつ科学的厳正さをもって遂行する。非臨床試験として必要な動物実験は動物福祉に十分配慮して行う。
3. 医薬品の適正使用を確保するため、医療関係者や患者さんに対し品質・有効性・安全性に関する情報を的確に提供するとともに、製造販売後の情報の収集・分析評価とその伝達を迅速に行う。
4. 医療関係者や患者さん等と誠実なコミュニケーションを図り、満足と信頼を獲得する。
5. 公正で自由な競争を通じ、医薬品として適正な取引と流通を行うとともに責任ある調達を行う。また、医療関係者を始め、政治、行政との健全かつ正常な関係を保つ。
6. 企業を取り巻くステークホルダーとの対話を行い、企業情報を適切かつ公正に開示する。
7. 個人情報・顧客情報をはじめとする各種情報の保護・管理を徹底する。
8. 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の活動と存続に必須の要件であることを認識して、主体的に行動する。
9. 従業員の多様性・人格・個性を尊重し、倫理観の高揚を図るとともに、健康と安全に配慮した働きがいのある環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現する。
10. 良き企業市民として、積極的に社会に参画し、その発展に貢献する。
11. 国内外の全ての人々の人権を尊重した経営を行う。
12. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体に対し毅然とした対応を行い、関係遮断を徹底する。また、テロリズム、サイバー攻撃、自然災害、パンデミック等に備えて危機管理を徹底する。
13. 事業活動のグローバル化を推進し、各国・地域の法律の遵守、人権を含む各種の国際規範の尊重はもとより、文化や慣習、ステークホルダーの関心に配慮した経営を行い、当該国・地域の経済社会の発展に貢献する。
14. ジェネリック医薬品の普及を推進する国際的取組みに参画し、その発展に貢献する。
15. 経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、自社およびグループ企業に徹底するとともに、取引先に周知させる。また、社内外の声を把握し、実効あるガバナンスの構築を行うとともに、企業倫理の徹底を図る。
16. 本憲章に反するような事態が発生したときには、経営トップ自らが問題解決にあたり、原因究明、再発防止、信頼の回復に努める。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上、自らを含めて厳正な処分を行う。



## 5. 職場環境

### (1) 金沢市はたらく人にやさしい事業所

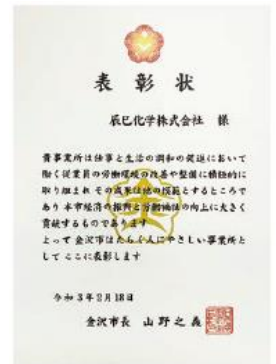
- ・当社は金沢市より、仕事と生活の調和の促進や労働環境の改善や整備に積極的に取り組み、成果をあげている先進的な事業所として「金沢市はたらく人にやさしい事業所」に認定をされた。

#### 【主な取り組み】

- 有給休暇取得の推進
- 人事評価制度の透明化
- 男性の育児休暇取得の推進
- 時間外労働時間表作成による業務の平準化
- 女性の役職登用等の女性活躍の推進
- 業務の見える化、ワークシェア、残業削減の取り組み



金沢市  
はたらく人に  
やさしい事業所



金沢市はたらく人にやさしい事業所 表彰状

### (2) かがやき健康企業宣言

- ・当社は、全国健康保険協会石川支部主催の「かがやき健康企業宣言」に参加。この制度は、従業員の健康を重要な経営資源と考え、企業が中心となって従業員の健康維持、増進への取り組みをサポートするもので、当社は「かがやき健康企業宣言優良企業」に認定されている。
- ・今後も、より一層従業員の健康づくりを推進していくことで、働きやすい環境づくりを整備していく。

#### 【主な取り組み】

- 「健康づくり責任者」を選任し、従業員の健康保持増進を促進
- 従業員への健康意識の啓蒙
- ウォーキング大会などスポーツイベントを通じた従業員の運動への取り組みの啓発
- 地域イベントへの参加などを通じた地域とのコミュニケーション促進
- ワークライフバランス充実への取り組み

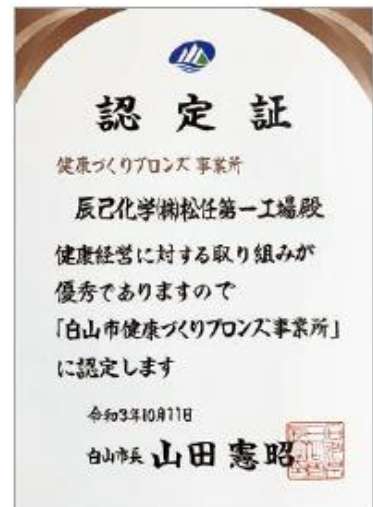


かがやき健康企業宣言優良企業ロゴマーク

## 5. 職場環境

### (3) 白山市健康づくりブロンズ事業所認定

- ・松任第一工場は、健康経営に主体的に取り組む事業所として白山市より「健康づくり宣言事業所」に認定されている。地域発展のためにも、従業員の健康づくりに継続的に取り組んでいる。



白山市健康づくりブロンズ事業所 認定書

### (4) 女性活躍推進への取り組み

- ・当社は、女性が活躍出来る職場環境の整備を図ることを目的に、育児と仕事の両立、女性の管理職比率の向上、労働時間の削減、女性の正社員採用の増加など、継続的な取り組みを行ってきた。その結果、石川労働局より基準適合一般事業主に認定された。



基準適合一般事業主 認定通知書

### (5) ワークライフバランス

- ・当社では仕事と家庭の両立を目的に、男性の育児休暇取得の推進、長時間労働の削減、有給休暇取得の推進など、職場環境の整備に向けて積極的に取り組んでいる。2019年には、「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」に認定された。



石川県ワークライフ  
バランス企業ロゴマーク



いしかわ男女共同参画  
推進宣言企業 認定書

## 5. 職場環境

### (6) ダイバーシティ

- ・当社は、毎年ベトナムより技能実習生を受入れ、現在12名の研修生が働いている。今後も個々の多様性を生かした組織づくりを推進していく。

### (7) 地域未来牽引企業

- ・当社は、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手となる企業として、経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定されている。選定された企業には、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の経済成長を牽引する、地域の中核企業としての期待が込められている。当社も積極的な事業展開により、更なる地域貢献を目指す。



地域未来牽引企業 認定書

### (8) 工場見学／インターンシップ

- ・平成28年に竣工したP号棟は、広く一般の方々に工場を見学していただけるように見学通路を設けており、県内の高校生など多くの見学者が訪れている。
- ・また、インターンシップの受入や大学での講義を行うなど、ジェネリック医薬品の理解を深めていただくとともに、将来的な業界全体の活性化に繋がる取り組みを継続して展開していく。



県立工業高校様 工場見学



インターンシップ

## 6. 環境問題

### (1) SDGs宣言

- ・当社は、経団連環境自主行動計画に連動し日薬連、日本ジェネリック製薬協会と協同で自主行動計画フォローアップに参加している。
- ・近年、地球温暖化対策に対する国際的な合意、国内法令改正、社会的な要請などが進む中、CO2排出量の削減や廃棄物の減量化、省エネルギー対策の推進など、地球環境の保全と省エネに真摯に取り組んでいる。
- ・また、SDGsへの継続的な取り組みを通じて、環境経営を推進し、社会貢献と地球環境の負荷低減を目指す。



**辰巳化学 株式会社**  
**SDGs宣言**

我々は、安全で安心できる医薬品の提供により、健康で豊かなヒューマンライフに貢献します。我々は、常に柔軟な発想で高度な技術にチャレンジし、付加価値の高い製品で信頼に応えます。我々は、仕事と組織を通して、能力の開発と人格の向上を追求します。

この経営理念に基づき、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」を推進し持続可能な社会の実現に努めてまいります。

**SDGs達成に向けた取り組み**

重点課題	具体的な取り組み	SDGs
製品・サービス	<b>品質・安全性 リスクマネジメント</b> ・GMP基準に則った製造、品質管理及び法令遵守 ・BCP（事業継続計画）、薬害対策マニュアルの策定 ・医薬品の安定供給を確保するための医薬品開発への継続的な供給体制の整備	9, 12, 13
人権・労働	<b>ワークライフバランス 人材育成 ダイバーシティ</b> ・仕事と子育ての両立の為、男性の自休取得取得推進及び有給休暇取得の推進 ・健康経営の推進 ・女性の働きやすさを推進 ・外国人技能実習生の受入	5, 8, 10, 11, 12, 13
環境	<b>環境マネジメント</b> ・CO2排出量の削減、廃棄物の減量・再資源化及び省エネルギー対策 ・オフィス内の各種ペーパーレス化及びLED化推進	7, 11, 12, 13, 15
社会・地域貢献	<b>地域貢献活動</b> ・工場見学及び地元教育機関からのインターンシップ受入 ・地域イベントへの積極的参加、協賛並行し地域経済活性化の貢献 ・地元企業との連携	8, 9, 11, 13, 17

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 辰巳化学株式会社

SDGs宣言書

### (2) 施設内における取り組み

- ・当社では、従業員のスケジュール管理や各種連絡に社内グループウェアを活用しており、品質管理厚生棟および工場には、デジタルサイネージを設置している。これらにより、紙文書の電子化や電子保存が進み、ペーパーレス化が図られている。
- ・また、今後は建物全棟の照明LED化や、使用済みの作業着を回収してリサイクルを徹底するなど、環境に配慮しながら成長する企業を目指す。



デジタルサイネージ



LED照明（食堂）

## 7. インパクトの特定

### (1) インパクトレーダーによるマッピング

国際産業標準分類		川上の事業		当社の事業		川下の事業								
		【2100】		【2100】		【4649】		【4772】		【8610】		【8620】		
インパクトカテゴリー		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	
社会	水（入手）													
	食糧													
	住居													
	健康・衛生	◆◆		◆◆		◆		◆◆		◆◆		◆◆		
	教育													
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆◆	◆	◆◆	◆
	エネルギー													
	移動手段													
	情報													
	文化・伝統													
	人格と人の安全保障													
	正義・公正													
	強固な制度・平和・安定													
環境	水（質）		◆		◆		◆							
	大気		◆		◆		◆							
	土壌													
	生物多様性と生態系サービス						◆							
	資源効率・安全性		◆		◆									
	気候		◆		◆		◆					◆		
	廃棄物		◆		◆		◆		◆			◆		
経済	包括的で健全な経済	◆		◆				◆		◆		◆		
	経済収束													

株式会社富山第一銀行は、辰巳化学株式会社のバリューチェーン分析等の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FIが推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。辰巳化学株式会社は多岐に亘るため、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、辰巳化学株式会社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

## 7. インパクトの特定

当社はジェネリック医薬品の製造（自社製造、OEM製造）及び研究開発、販売を行う。ジェネリック医薬品は販売代理店等を経由し、医療機関を通じて一般顧客に提供される。

当社のバリューチェーン分析から、「医薬品、薬用化学品及び植物性薬品製造業」「その他の家庭用品卸売業」「専門店による医薬品、医療品及び化粧品・洗面用品小売業」「病院事業」「医療業及び歯科医療業」に対応するインパクトカテゴリーの影響度の検討を行う。

インパクトマッピングにおいて特に影響が大きいと考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブでは「健康・衛生」「雇用」が挙げられた。一定の影響があると考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブでは「包括的で健全な経済」、ネガティブでは「雇用」「水（質）」「大気」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」が挙げられた。この内、当社事業と関連性の高いカテゴリーを中心に検討する。

当社が製造するジェネリック医薬品は、人々の命や健康を守る重要なツールであり、充実した設備等による製造や開発、全国47都道府県全てを網羅する流通ネットワークの展開による安定供給体制等より、サプライチェーンの中で「包括的で健全な経済」のポジティブ・インパクトの増大に貢献している。また、社会保障費が深刻化する日本において、新薬と比較して経済性に優れるジェネリック医薬品が果たす役割は大きく、ジェネリック医薬品の流通による医療費抑制は、より多くの人々に医薬品を行き渡らせることにつながっており「健康・衛生」のポジティブ・インパクトの増大に貢献している。

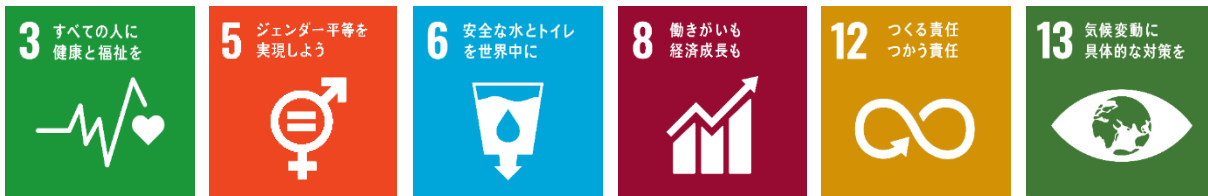
当社では従業員が働きやすい職場環境の実現に向け、具体的取組みとして、男性の育児休暇取得推進及び有給休暇取得の推進、女性の役職員登用等の女性活躍推進、外国人技能実習生の受入、工場見学・インターンシップ受入を推進するなど「雇用」のポジティブ・インパクトの増大及びネガティブ・インパクトの抑制に努めている。

製薬業の課題として、工場稼働に伴うCO2排出や産業廃棄物の発生等、環境への各種影響が挙げられる。当社は、SDGs宣言において環境への配慮を徹底した事業活動の展開を掲げており、具体的な取組みとして、汚泥の一部をセメント・コンクリート原料にリサイクルすることによる廃棄物の減量・再資源化や、排水処理設備にて微生物を用いた工場排水の分解及びPH管理による環境汚染防止等に取り組んでいる。その他、オフィス内の各種ペーパーレス化、LED照明への切替、使用済み作業着の回収およびリサイクルの推進等の取組みにより「水（質）」「大気」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」のネガティブ・インパクトの抑制に努めている。

## 7. インパクトの特定

### (2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール

当社の売上高の大半は日本における事業であり、日本のSDGsダッシュボードから同社のインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高いSDGsのゴールは下記となる。



### (3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応するSDGsのゴール6項目のうち、1項目が重要な課題が残る、5項目が課題が残る項目である。日本に課題が残る項目が6項目中全項目該当していることから、日本における同社のインパクトは重要度が高いと判断する。

## 日本

経済協力機構加盟国



戻る 概要 指標 ファクトシート 政策への取り組み



### SDGダッシュボードとトレンド



ダッシュボード： ■ 大きな課題が残る ■ 重要な課題が残る ■ 課題が残る ■ 目標達成 ■ 情報がない  
 動向： ↓ 減少 → 停滞 ↗ 緩やかに改善 ↑ SDGsの達成を順調に進めているまたは維持している ● トレンド情報は利用できないまたは維持している

## 7. インパクトの特定

### (4) インパクトの特定

以上を踏まえ、同社のインパクトを下記のように特定した。

- **ジェネリック医薬品の供給量拡大および品質確保**
- **地球環境保全への取り組み強化**
- **従業員が働きやすい職場環境の整備**

### (5) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。今回特定したインパクトは「**ジェネリック医薬品の供給量拡大および品質確保**」「**地球環境保全への取り組み強化**」「**従業員が働きやすい職場環境の整備**」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「**ジェネリック医薬品の供給量拡大および品質確保**」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」という観点で、「**地球環境保全への取り組み強化**」では「3.環境保全」という観点で、「**従業員が働きやすい職場間環境の整備**」では「4.健全な企業経営」という観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs達成に向けた取り組みの支援を目指す。



## 8. KPIの設定

### ① ジェネリック医薬品の供給量拡大および品質確保

- ・高品質で安全な医薬品の製造・開発および流通量の拡大を通じて、日本の医療の充実や医療費の抑制に貢献していく。

項目	内容
インパクトの種類	・社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大 ・経済面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクトカテゴリー	・「健康・衛生」「包括的で健全な経済」
対応方針	・安定供給に向けた生産量拡大
K P I	・2028年6月期までに年間生産数量を25億錠以上とする

### ② 地球環境保全への取り組み強化

- ・全社をあげて、CO2排出量の削減、廃棄物の減量、省エネルギー対策の推進を図り、環境負荷軽減の徹底に努めていく。

項目	内容
インパクトの種類	・環境面におけるネガティブ・インパクトの抑制
インパクトカテゴリー	・「水（質）」「大気」「資源効率・安全性」「気候」 「廃棄物」
対応方針	・CO2排出量の削減 ・廃棄物の減量 ・省エネルギー対策の推進
K P I	・2028年までにエコアクション21の認証を取得する

## 8. KPIの設定

### ③ 従業員が働きやすい職場環境の整備

- ・全従業員が働きがいや働きやすさを感じることができるよう、ワークライフバランスの充実や健康保持・増進に資する取組みをより一層強化していく。

項目	内容
インパクトの種類	・ 社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクトカテゴリー	・ 「健康・衛生」 「雇用」
対応方針	・ 全従業員のワークライフバランスや健康保持・増進に向けた取組みの強化
K P I	・ 2028年までに健康経営優良法人の認証を取得する

## 9. 管理体制とモニタリング

### ① インパクトの管理体制

当社は、作田様を中心としてサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、業務部総務課が中心となり、管理・達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役社長 黒崎 隆博
管理責任者	業務部総務課 課長 作田 拓哉
管理部署	業務部総務課

### ② モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定したKPIの達成及び進捗状況については、富山第一銀行と当社とで定期的に面談の場を設け、共有する。本面談は、少なくとも年1回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI達成に必要な資金およびその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成したKPIに関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。尚、経営環境の変化などにより、KPIを変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社が協議の上、再設定を検討する。

#### 注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行が辰巳化学株式会社から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画又は状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

#### ● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMAキラリ7F）

TEL (076) 423-3871